



# 瑞穂の四季



発行：三木市高齢者大学大学院自治会  
 発行責任者：自治会会長 高瀬 和久  
 編集委員：三木 清 山下 貴美子  
 長谷川 泊巳  
 発行日：平成29年3月7日  
 自治会便り 第37号

## 第9期生の卒業にあたって

卒業生の皆様、おめでとうございます。

私が学長に就任した年に皆様は高齢者大学に入学なさいました。皆様と共に講義を受けながら私は色々と学ばさせて頂きました。日頃は「知るは楽しみなり」を実践していると自負している私ではありましたが皆様の「知識欲」「挑戦力」「発信力」そして何よりも「ふれあいの精神」には感動させられました。



そして一方通行の講義では無く、皆様方が講義の内容を膨らませておられたことにも感動致しました。高齢者大学・大学院での6年間で皆様にとっての「宝物」の一つになったであろうことを確信致しております。ご卒業後も色々な分野でご活躍されることを祈念致しております。

「老いることは、年齢ではなく向上心を無くしたときである」

学長 岩波 孝昭

## 自治会活動について

今年は、大学院独自の行事に多くの変更がありました。3年前からやっていた芸能一座が自治会活動から離れ、郷勉会もクラブになる予定です。加えて、年2回春と秋にやっていた地域交流グラウンドゴルフが、来年から秋1回になります。昨年まで5月1回だけであったシャフルボードが、今年はまだ1回年明けに行われ2回行われました。今年も東・北播磨地域の高齢者大学等で学習している高齢者が一堂に会し第31回東北播磨の集いが三木市文化会館で10月に盛大に行われました。毎年ですが、今年は特に地域の交流および地域貢献の重要性が重視された年でもあり、今後は地域の高齢者に喜びとゆとり等の気持ちを与えるような自治会活動をする必要があるように感じました



地域の交流

自治会会長 高瀬 和久

## 卒業にあたり

いよいよ瑞穂の里とお別れになりました。高齢者大学四年間、大学院二年間、六年間あっという間でした。現役時代を終え、違う人生を歩んでこられた同年代の方たちと過ごしたこの一時、学習、ボランティア、体育祭、旅行、クラブ活動と、何事にも変えられない時間になりました。思う存分活動し、楽しませていただいた学校に対して、感謝の気持ちいっぱいです。他の学生達それぞれの想いは違っても、感謝の気持ちは同じでしょう。我々は去って行きますが、一年生の方、あと一年充実した学生生活を楽しんでください。



新年会

健康に・・・ さようなら。

2年 安川 一夫

## 楽しかった館外学習



二月の小雪がちらつく寒い日、私たち大学院生は防災センターに行った。近い将来起こりうるであろう震災の講義を言葉巧みな先生により時間の長さを感じることなく楽しいひと時を過ごした。又震災体験コーナーで机の足や縁取手を握りしめながら震度五や七の揺れを体験、恐怖感



いっぱい!!これが実際に・・・と思うと超脳刺激!!と笑ってはいられない!! 勘も運動神経も鈍い私は完全にサバイバルは無理、午後からは実験施設「E-ディフェンス」見学そして火災体験に胸ドキドキ!! 暗闇の中の建物の入口に入るも迷ったあげく、救命士の方の助けを借り私たちは手を引かれながらやっと出口にたどり着いた、これ又勘の鈍さを嫌厭なくヒシヒシ・・・体力はないが長年の知恵を踏み台に小さな出来る事から実践をとった。本当に貴重な体験だった。救命士の可能性を秘めたイケメンの若者がいっぱい心がほっこりしたのも印象的だった。将来にエールを送りたい!! 1年 宮本 初美

## 地域活動発表会を終えて

地域活動は大学院独特の講座です。

私達の「いるいるジージ・バーバ」は子育て支援の広場「ほっぺ」を訪問しました。お母さんたちは毎日の育児に追われるなか一時でもほっとしたい願望があるそうです。年を経てゆとり・やさしさ・たっぷりの「にくブトン」が有効利用できそう?ハグハグしてあげたいと思いました。いろんな活動を思う時、子育てたすけ隊の養成講座での栗木先生の話が印象に残っています、小学生のサマーキャンプに生きたニワトリを連れていくとの事最後の日にそれを つぶすとかわいそうと半泣きした子供達が、夕食にカラアゲが出ると、我先に取ってパクつくとの事、「これはあのニワトリだったんだよ」と言うそうです。食べるということはいろんな命をいただくということなんだと諭すそうです。「ほっぺ」のクリスマス会に参加、手書きの絵をくいいる様に見、クイズや呼びかけに真剣に答えて



① 年取るとお腹が出てきてだっこしてあげるとき柔らかくて子供が心地いい

くれました、喜びはしゃいでいる姿は私達の活力源!「ほっぺ」からのお礼状がグループの至福の喜びになりました。1年の皆さんが複数のグループに参加、グループの人数も多く活発そのもの、交流や共有があり、とてもいいと思います。地域活動がますます向上する事を期待します。

2年 津田 美喜子

## 大学院への学生募集ならびに大学院パネル作成に当たって

1月末の高大4年生の大学院への呼びかけ・2月26日の大学祭でのパネル作成では、高大とは一味違う大学院独特の以下3点に絞り説明しました。

- ① 館外講座—学校を離れての体験学習・六甲山の草花を知ろう研修 奈良にて歴史ある當麻寺見学・防災センターでの震度7の体験
- ② 地域活動—1・2年生が8つのグループを編成し、その目的に沿って各地域に貢献すべく行動を起こす
- ③ 健康スポーツとしてシャフルボードに力をいれ、市内に輪をひろげる

大学院自治会 より

